



平成20年1月31日

山武市長 椎名千収 様

山武市総合計画審議会
会長 秋庭 武 行



山武市総合計画（案）について（答申）

平成19年12月28日付け総企政第56号で諮問のありました山武市総合計画〔基本構想及び前期基本計画〕（案）について、下記のとおり答申します。

記

当審議会に諮問された山武市総合計画〔基本構想及び前期基本計画〕（案）について慎重に審議した結果、「ともに手を携えて誇りを持てるまちづくり」を基本理念として捉え、市の将来都市像を「誰もがしあわせを実感できる独立都市 さんむ」とした「基本構想」と、それを受けての5か年の「前期基本計画」については、今後、市が取り組むべき方向を示した10か年の総合計画として適切なものと認めます。

なお、計画の実施にあたっては、次の事項に十分留意されるよう要望いたします。

1. 総合計画の趣旨や内容をわかりやすく、積極的に市民に周知するとともに、計画の推進にあたっては、市民の視点に立った協働のあり方を十分に検討され、市民が誇りを持てるまちづくりの実現に努めていただきたい。
2. 総合計画は、山武市におけるまちづくりの最上位に位置づけられる計画であることから、各分野における個別計画の策定にあたっては、十分整合性が図られるよう努めていただきたい。
3. 計画の進行状況や成果を明らかにし、的確な評価を実施して計画の適切な進捗管理を図るとともに、施策推進のために職員の資質向上と機動力ある組織運営に努めていただきたい。
4. 今後における社会環境及び経済状況に十分留意し、柔軟かつ適切な対応を迅速に図ることにより、計画の円滑なる展開に努めていただきたい。
5. 厳しい財政状況の中、まちづくりの基本である健全な財政運営を堅持し、より一層の行財政改革の推進に努めていただきたい。